

## 来賓挨拶

来賓として連合 逢見事務局長、金属労協（JCM）野中副議長（電機連合 中央執行委員長）、民進党 岡田代表にご出席いただき、それぞれ挨拶をいただいた。



連合 逢見事務局長



金属労協（JCM）野中副議長



民進党 岡田代表

当面する重要課題について、一つ目は、低迷する国内自動車市場の活性化についてです。2016年の国内新車販売台数が500万台を割り込むこととなれば、東日本大震災の2011年以来、5年ぶりの低水準に陥りかねず憂慮します。こうした中、本年末の税制改正に向けては、自動車重量税のエコカー減税と自動車税・軽自動車税のグリーン化特例の基準引き上げなど、ユーザー負担の増大につながる政府与党の姿勢が報じられており懸念するところです。ユーザー負担の軽減、国内市場の活性化に向け、自動車ユーザー団体等とも協力しながら、自動車関係諸税の取り組みの意義を多くのユーザーに理解頂く活動を進めつつ、本年の税制改正に臨んで参ります。

二つ目は、付加価値の「WIN-WIN最適循環運動」についてです。2016年総合生活改善の場での労使論議、報道関係などを通じた社会的訴求、各経営者団体との共同推進の基盤づくりなど、問題意識の共有と実践の必要性を共有し、1年目のスタートを切ることが出来ました。また、今月29日には、本運動の加速を念頭に各経営者団体、経済産業省、日本生産性本部などの参加を得ながら、技術革新の動きなども踏まえつつ「自動車産業フォーラム」を開催し、2年目の準備に入ります。

三つ目が、いわゆる「働き方改革」についてです。現在、政府が掲げる、「働き方改革」には、「雇用制度改革」「生産性革命」など、労働組合にかかわる重要課題が目白押しです。一方、政府は、長時間労働是正を掲げる一方で、長時間労働につながりかねない労働基準法改正を求め、また、非正規労働者の拡大と固定化につながる派遣法改正を押し通しながら、同一労働同一賃金を掲げています。とても、一貫性ある政策とは思えません。

四つ目は、2017年総合生活改善の取り組みについてです。2016年取り組みでは、非正規労働者の処遇改善、企業内最低賃金の取り組みなど、格差是正、底上げに向けた着実な前進を果たすことが出来ました。それぞれの粘り強い取り組みに敬意を表します。2017年総合生活改善の取り組みに向けては、経済の自立的成長に向けた自動車総連全体の底上げ・格差是正の前進を基調としつつ、自動車産業の持続的かつ、健全な発展につながり得る取り組みのあり方について、先ず、検討を深めたいと思います。賃金引き上げについては、不透明感増す経済情勢はもとより、産業の実態、職場の状況などを注視しつつ、要求案策定時における全体の情勢を十分に見極め、適切に判断して参ります。

### Ⅲ. 結び

今期は、2017年9月大会までの1年の期となります。職場とのコミュニケーションを重ねた第6回組織強化活動を活かしきる1年としなければなりません。実り多い1年となりますこと祈念し、大会冒頭のご挨拶と致します。共に頑張りましょう。

## 海外来賓挨拶

海外来賓として多くの方のご出席をいただき、代表としてインダストリアルオール フーパー会長、UNI ジェニングス書記長、ITUC-AP 鈴木書記長にご挨拶をいただいた。



インダストリアルオール フーパー会長



UNI ジェニングス書記長



ITUC-AP 鈴木書記長